

Los Angeles Times

1981年11月6日 金曜日

GALLERIES HOLLYWOOD

文 ウィリアム ウイルソン

日本人は伝統的に、特に印象的な木や岩は、彼らに関する限り芸術品であるほどの尊敬の念の中で自然を保持していると言われていました。ここでの彼の最初の展覧会では、角永和夫はその古代の尊敬と最近の西洋のプロセスアートを融合させています。

角永は、「木」というタイトルで指定された10作品に加えて、識別用の数字と2~3文字を提示します。1つは、丸太の中央から切り取られたハンサムなハンギングスワッグにすぎません。

特に表情豊かな作品は、部分的に焼かれたわずか12本の短い枝で構成されています。

ただし、最も特徴的な部分は、積み重ねによって再構成された、紙の薄い長さに切断された樹皮のない、または粉碎された丸太です。15フィートの仕事の1つは、乾燥するにつれてしわくちゃになり、カールし始めます。おそらく、それはゆっくりと最終的な形に進化していくでしょう。

このテーマのバリエーションは、1インチ幅のスライスで垂直方向に半分に切断された樹皮のない丸太です。何らかの理由で、木の栓が予期しない間隔で落ちて、丸太がコンピューターに変わった奇妙な特徴を与えました。

角永の展覧会の一般的な効果は、自然の美しさについての絶妙な、ほとんど叙事詩の、丁寧な詩の効果です。その精力が流れ去っていくのを見ながら、私たちはその洗練に疑問を抱きます。

* * * * *

Space Gallery、6015 Santa Monica Blvd d., to Dec. 5.